

教育シンポジウム 2 : 臨地実習に組み込まれた多職種連携 現状・展望と学部学生に求めるもの

心臓カテーテル検査治療での検査技師の役割

三 富 圭*

要 旨 心臓カテーテル検査室で行われる検査や治療がより専門的になってきている。医師・看護師・臨床工学士・放射線技師と連携をはかり、タスクシフトとして臨床検査技師が心臓カテーテル検査室で検査・治療の評価に積極的に関与する必要があるが出てきた。

キーワード 心臓カテーテル検査室、検査技師の役割、検査と治療、タスクシフト

はじめに

心臓カテーテル検査室で行われる検査や治療の内容が、より専門的になってきている。

今まで心臓カテーテル検査室で臨床検査技師が担ってきた役割は主として、心電図モニタの監視であった。

現在、心臓カテーテル検査室で行われている仕事の内容と量が急速に増えている。

I. 虚血性心疾患治療

ポリグラフを用いて、心電図（入室時と比べ変化ないか）・動脈圧（圧の急激な変化、カテによる冠血流低下）・血圧、SpO₂ モニタリングを行う。

患者の異常を早期に発見する目的でポリグラフにて 12 誘導心電図、血圧 SpO₂ をモニタリングして、異常があればすぐに術者に伝える。

特に病変部デバイスが挿入されている際は心筋への血流障害が起こり、ST 上昇、血圧低下、徐脈等を起こす場合がある。ときには致死性不整脈を誘発することもあるので、注意が必要となる。

1. 血管内エコー

血管内画像診断装置の一つ。狭窄部の動脈硬化の状態や、血管の状態、分枝形状を診断して、狭窄の長さを計測し、バルーンサイズの決定やステント留置に関与する。

検査技師が機器の準備や操作を行い、術者はこれらの情報を元にステントサイズ決定やステント圧着状態を確認する。

II. カテーテルアブレーション治療

心電図、血圧、麻酔状態の監視を行う。

ポリグラフを用いての心電図や血圧の監視、脳波等を利用し解析して算出されるバイスペクトラルインデックス (bispectral index: BIS) を用いての麻酔深度や鎮静度の管理をする。

1. 心内心電図解析装置の操作、プログラム刺激装置の操作

まず、電気生理学的検査 (Electrophysiological study: EPS) を行う。

医師と共に刺激装置による連続刺激法などのプログラム刺激により不整脈を誘発し、心内心電図を計測することで診断を行う。また、三次元マッ

* JA 新潟厚生連新潟医療センター検査科 e-mail:niigatacenter_kensa@yahoo.co.jp

ピングシステムを用いる場合には専用の特殊な電極を装着するなどの準備を行う。

III. ま と め

現在の心臓カテーテル検査、治療は専門的であり侵襲的になっている。

新しい手技も多く取り入れられている。

医師だけでなく、検査・治療の評価ができる臨床検査技師が心臓カテーテル検査室で積極的に関与する必要が出てきた。

心臓カテーテル検査室における医師、看護師、臨床工学士、放射線技師との連携が重要だが、一つの病院にこだわらず、各病院の臨床検査技師による勉強会・交流が必要と考えられる。